

Press Information

2004年10月21日
No.04-04

曙ブレーキ工業(株)中国に現地法人を設立 新たに摩擦材工場の進出も決定

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役会長兼社長：信元 久隆 本店：東京都中央区 本社：埼玉県羽生市）は、昨年12月に中国プロジェクトを発足し、中国進出の準備を進めてまいりましたが、10月18日に当初の候補地であった広州にて営業許可証を取得し、現地法人を設立いたしました。これは現地に対する様々なノウハウをもつ伊藤忠商事株式会社（代表取締役社長：小林 栄三 本社：東京都港区）の協力を得て実現したものであります。

現地法人名は、广州曙光制动器有限公司 [英語表記：Akebono Corporation (Guangzhou)]とし、ドラムブレーキ、ディスクブレーキの生産とあわせ、材料／部品現地調達の推進を目的とした、調査・ベンチマーク機能をもつ「技術センター」を設置いたします。代表者である董事長は、石垣吉広（曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長）が就任する予定です。

ドラムブレーキに関しては、生産立ち上がりを円滑に行うべく、既にグループ企業である山陽ブレーキ工業株式会社（岡山県）に、人を中心としたパイロットラインを設置し生産準備を進めており、当初計画通り2005年7月からドラムブレーキの組み立てを開始する予定です。加えて、急成長する中国自動車市場での事業拡大の為、これまでは2008年を目処としていたディスクブレーキの加工・組み立て開始を2006年6月に前倒しいたします。

また、akebonoグループのコアビジネスである摩擦材（ディスクブレーキパッド）の生産拠点に関しても、伊藤忠商事の協力を得て蘇州への進出を決定、曙光制动器（苏州）有限公司 [英語表記：Akebono Corporation (Suzhou)]として会社名の登録を完了し、11月上旬の営業許可証取得に向け諸準備を進めております。これにより、akebonoグループの中国における生産体制は、ドラムブレーキ、ディスクブレーキ、ディスクブレーキパッドの供給が可能となり、akebonoグループの中長期的な目標である「Global 30^{*}」を推進する上で重要な役割を担う拠点となります。

*新車組付用ディスクブレーキパッドの世界シェア30%を目指すakebonoグループの中長期的な目標

<広州新会社の概要>

1. 会社名
广州曙光制动器有限公司 [英語表記 : Akebono Corporation (Guangzhou)]
2. 代表者 (董事長)
石垣 吉広 (曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長)
3. 設立
2004年10月18日
4. 進出地域・敷地面積
広州永和区・約 28,000 m²
5. 資本金
7.5 百万ドル
6. 従業員数
約 50 名 (2005 年度)
7. 出資先
曙ブレーキ工業(株)100% (伊藤忠商事が一部株式を譲り受ける形で資本参加する予定)
8. 事業内容
ドラムブレーキの組み立て、ディスクブレーキの加工・組み立て、及び材料
／部品現調化の推進を目的とした、調査・ベンチマーク機能

<曙ブレーキ工業(株)概要>

1. 創業
1929年1月
2. 代表者
代表取締役会長兼社長 信元 久隆
3. 資本金
92 億円 (2004年3月末現在)
4. 連結売上高
1,414 億円 (2004年3月期)
5. 連結従業員数
4,600 名 (2004年3月末現在)
6. 事業内容
自動車・鉄道車両・産業機械用ブレーキの製造・販売